

穰暑夜竿燈祭

しよや いの かんとうさい
暑夜に穰る竿燈祭

燈火萬竿昏黒光

とうか ばんかん こんこく かがや
灯火 万竿 昏黒に光ぎ、

揺揺禾穂一風涼

ようよう かすい いっふう りよう
揺揺たる 禾穂 一風の涼。

四通列觀滿遊子

しつう れっかん ゆうしみ
四通 列觀 遊子満ち、

暑夜邑人豊歳穰

しよや ゆうじん ほうさい いの
暑夜の 邑人 豊歳を穰る。

通釈

灯のついたたくさんの竿灯が、夜空に輝いており、
ゆつくりと揺れる大きな稲穂（竿灯）の一風が涼しい。
あちこちの通りは、列をなす観客の旅人であふれかえっているが、
暑い夜に、街の人たちが集まって豊作をいのる祭りは、すばらしい。

語訳

昏黒 日が暮れて空が暗いこと。

揺揺 ゆれ動くさま。

禾穂 稲の穂。

（竿灯は大きな稲穂に見立てて作られている）

一風 一たび風が吹く、一陣の風。

四通 四方、あちこちの通り。

列觀 多くの人々が並んで見る。

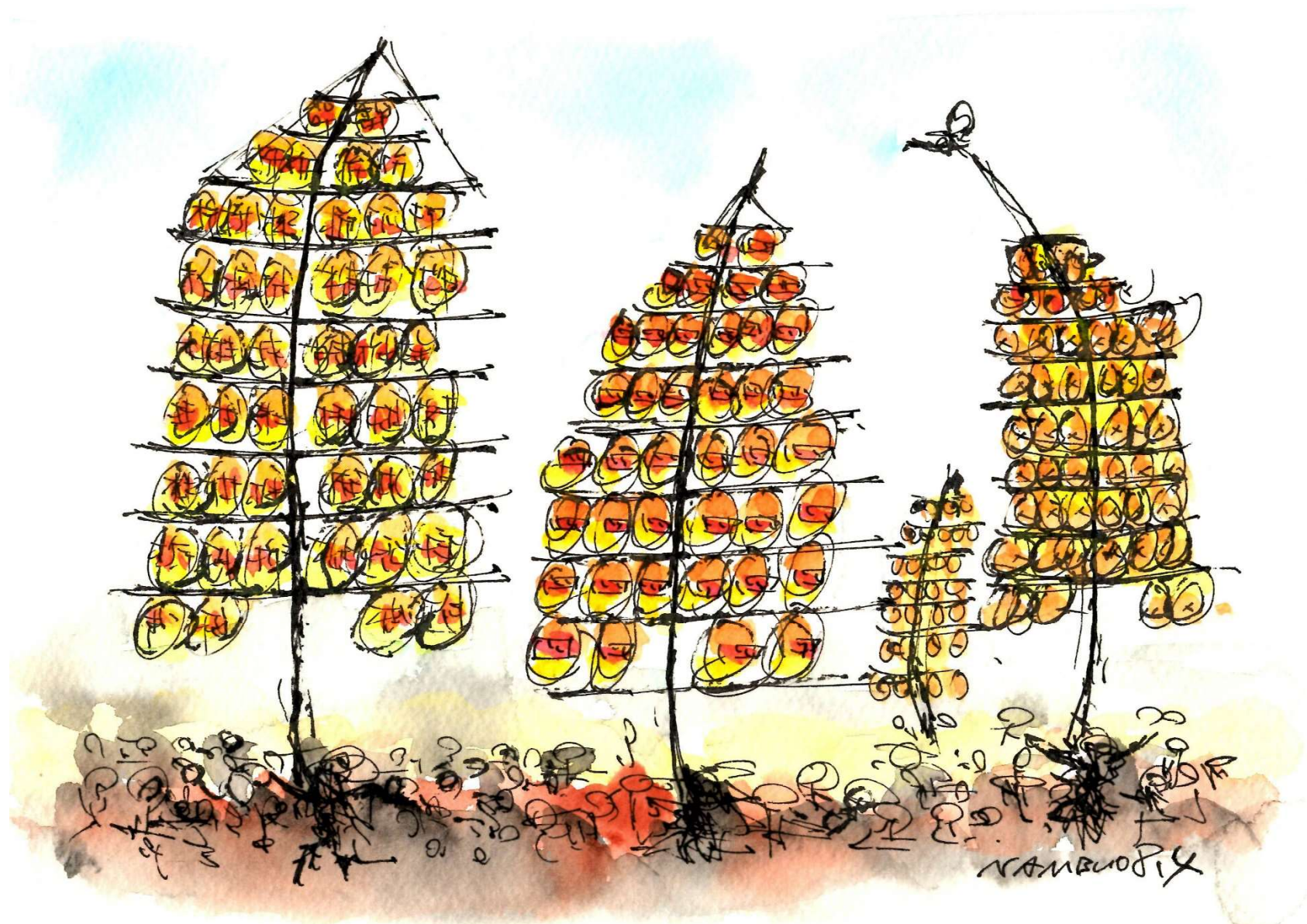
遊子 旅人。

暑夜 夏の暑い夜。

邑人 さいとの人、村びと。（地元の街の人たち）

豊歳 豊年、豊かに実った豊作の年。

穰 豊年をいのる。



RAMBHOPIX